

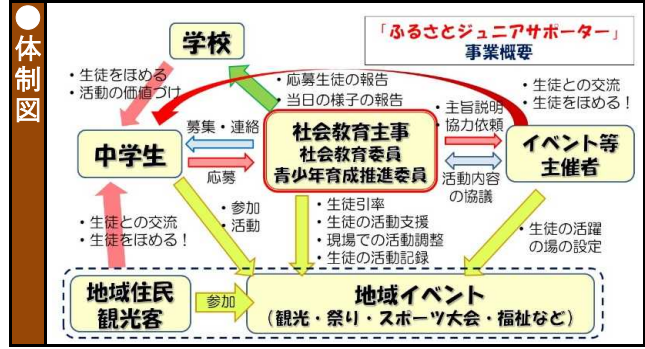
こんな活動です

# 「自己有用感」と「ふるさと愛」を伸ばす！ ～下呂市ふるさとジュニアサポーター～

岐阜県下呂市	●活動名 下呂市ふるさとジュニアサポーター	●関係する学校名 下呂市立下呂中学校 下呂市立竹原中学校 下呂市立小坂中学校 下呂市立萩原北中学校 下呂市立萩原南中学校 下呂市立金山中学校
--------	--------------------------	--

協働活動開始年度	平成 29 年度	関係学校数	6 校	のべ学級数	37 学級	のべ児童・生徒数	792 人
活動区分	—	地域課題解決学習	—	地域人材育成	—	—	—
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	—	—	—	—
—	2人	—	60人	—	—	—	—
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	有	—	—
—	平成30年5月9日設置	—	600人	—	—	—	—
参考URL	<a href="https://www.facebook.com/geropapamamakodomo/">https://www.facebook.com/geropapamamakodomo/</a>						

●連絡先 下呂市役所 市長公室 市民活動推進課 ☎ 0576-24-2222



●活動の概要・経緯

中学生が市内で行われる地域事業(イベントや福祉活動)にボランティアスタッフとして参加することにより、中学生の社会性を育成し、自己有用感を高め、地域への愛着と地域社会の担い手としての自覚を高めることを目的とした「ふるさとジュニアサポーター」事業を市の青少年育成事業として行っている。

2名の市社会教育主事が事業をコーディネート。29年9月からの1年間で、地域のスポーツイベントや祭り、福祉事業、観光事業など36件の行事等に延べ300人以上の中学生が参加している。生徒の活躍が地域で広く承認されるようになり、各地域の社会福祉協議会、観光協会、商工会、企業などの連携が進んでいる。各校で設置が進んでいる学校運営協議会とも連携がなされ、生徒会活動に地域ボランティア活動を取り入れるなど、中学生が地域貢献する機会も多くなっている。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①地域を挙げて中学生が地域で活躍できる場を設定し、次世代の人材育成と地域の活性化を図る「ふるさとジュニアサポーター事業」を市の青少年育成事業の柱の一つとしている。
- ②主要産業である観光分野で多くの活躍の場を設定。観光産業に対する職業観の育成を図っている。
- ③スポーツ、福祉、文化、祭りなど、イベントが活性化。地域住民の参加数も増加し、地域の絆づくりにつながっている。
- ④中学生と地域住民が互いに願いを交流する座談会(熟議)を行い、新たに生まれ実践された活動も多くなる。
- ⑤観光協会、商工会(地元企業)、社会福祉協議会、NPO法人等と学校運営協議会との連携が進んでいる。

### 【実施に当たっての工夫】

本事業は、これまで中学校がそれぞれで地域の力を借りながら実施してきた。しかし、市の事業として立ち上げたことで、市社会教育主事が社会教育委員や青少年育成推進委員らと共に、地域学校協働活動推進員の役割を担い、行事主催者と学校・地域とのコーディネートを行い、それぞれの役割分担を明確にして効果的な活動に仕組んでいる。

活動の企画、行事主催者との連絡調整、中学生への募集連絡、中学生からの参加受付、中学生や保護者への連絡、活動当日の引率や指導、活動の記録と報告などを社会教育主事やイベント主催者で行い、教職員の負担軽減につなげている。学校は、生徒に活動を奨励し、地域での活躍の情報を受け取り、生徒に賞賛の声をかけたり、学校便りや生徒指導便りなどで活躍の周知や活動の価値付けを行ったりする。各校の学校運営協議会や生徒会活動とも連携し、確実に地域や生徒の主体的な活動へと移行できている。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

- 【生徒】人とかかわりや、地域の行事・福祉・観光・商業などの体験を通して、コミュニケーション能力の向上や職業観の広がりなど社会性が高まった。地域貢献したという達成感・成就感と他者からの活躍の承認を得たことで、自己肯定感や自己有用感が高まった。これら成功体験を地域で経験することにより「ふるさと愛」が高まった。
- 【地域】中学生の地域行事参加により地域が活性化。地域で青少年を育てることが地域づくりにつながるという意識が高まった。中学生の地域での活躍の場を認め励まし、役割づくりを意図的・計画的に推し進めるようになった。
- 【学校】教師が生徒の地域での活躍を承認し価値付けることで、生徒の自己肯定感がさらに高まり、積極的な生徒指導やキャリア(進路)指導へとつなげることができている。

## ●その他

観光協会、旅館組合、JR東海、商工会、漁協等との連携により、観光イベントへの参加も活発! 主要産業である観光業の将来の担い手になってほしいという地域の期待は大きい。また、社会福祉協議会やNPO(サンはぎわら、ふるさと金山)との連携により、福祉分野の活動も広がってきている。



中学生も観光客と一緒に写真を撮っている。おもしろい写真を撮っている。ボランティアの姿も見える。



運行する列車の中で、乗務員との記念撮影をする中学生もいる。